

事業シート(令和7年度予算)

事業名	81100 消防本部運営事業費					予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画	
							款	8	消防費			ポイント				
							項	1	消防費		分野別	政策分野	3 都市基盤・防災・景観	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します	
							目	1	常備消防費			施策分野	7 消防・救急			
担当課	消防本部	消防総務課・指令課・救急課	内線	2119												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民生活の安全を確保するため、消防体制の充実や関係機関との連携を強化する。 ・119番通報に対する迅速・的確な対応を行い、市民の生活と生命・財産を守る。	概要	・消防本部の運営、関係機関との連絡・調整、大野郡白川村の消防事務の受託 ・高機能消防指令システムの保守点検
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	83.5%		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
						増減 (b)－(a)
特定財源	国費 ()					
	県費 (県移譲事務交付金)	792	918	909		
	その他(消防手数料、白川村受託事業収入 等)	11,050	11,471	12,135		
一般財源		128,080	127,101	134,745		
新規・拡充	主な事業内容					
	消防本部の管理運営	82,382	81,950	90,249		
	消防指令システムの運用	57,540	57,540	57,540		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・火災出動 29件、救急出動 4,780件、救助出動 47件(令和5年1月～令和5年12月中) ・消防署施設及び通信指令装置等の保守点検、維持管理を行った。 ・緊急通報の多言語対応を行った。災害対応 25件 ・Net119(言語聴覚障がい者向け)緊急通報システムの運用(登録者30名、通報実績0件))
評価等	・施設の適正な維持管理、関係機関との連携強化により、消防体制の充実が図られた。 ・高機能消防指令システムの効率的な運用及び多言語対応により、119番通報に対する迅速・的確な対応が図られた。 ・Net119緊急通報システム運用により、言語聴覚障がい者の安心と円滑な119番通報が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	・救急・消防隊の適切な運用により、市民の安全安心を確保する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	155,786
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)－(c)
148,738	155,786	155,786	7,997
927	1,143	1,143	234
11,222	10,771	10,771	△ 1,364
136,589	143,872	143,872	9,127
査定額	説明		
98,246			
57,540			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・消防本部の運営に必要な経費を計上 ・高機能消防指令システムによる消防体制の充実に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	81110 消防署運営事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画		
						款	8	消防費			ポイント					
						項	1	消防費		分野別	政策分野	3		都市基盤・防災・景観	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します
						目	1	常備消防費			施策分野	7		消防・救急		
担当課	消防本部 消防総務課			内線	2119											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域の防災拠点である消防施設の災害時に即応できる体制を常に整え、機械器具等の適正な維持管理を行う。	概要	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理(白川出張所は白川村から消防事務を受託)
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	83.5%		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		41,013	38,585	38,920			
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(白川村受託事業収入、消防施設等使用料)	2,319	2,243	2,596			
一般財源		38,694	36,342	36,324			
新規・拡充	主な事業内容						
	消防庁舎の管理運営	41,013	38,585	38,920			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理を実施した。 ・各署所の施設修繕を行った。(非常灯修繕(高山)、空調修繕(高山、清見)、多目的トイレ漏水修繕(国府)、給湯器修繕(大野、国府)、執務室建具修繕(大野)、訓練塔修繕(上宝)、雨樋修繕(莊川)等)
評価等	・施設・設備の適正な維持管理により、消防体制の充実が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・各署所における施設や設備の不具合を早期に見出し、効率的な運用等を進め、修繕費等の抑制に繋げる。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	41,060
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
45,456	41,060	41,060	2,140
2,624	2,586	2,586	△ 10
42,832	38,474	38,474	2,150
査定額	説明		
41,060			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・消防署(分署・出張所を含む)の維持管理に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	81120 予防事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画		
						款	8	消防費			ポイント					
						項	1	消防費		分野別	政策分野	3		都市基盤・防災・景観	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します
						目	1	常備消防費				施策分野		7		
担当課	消防本部 予防課			内線	2118											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民生活の安全を守るため、火災予防対策や啓発活動の実施等により、防火意識の高揚や防火知識の普及を図る。	概要	・防火対象物や危険物施設等の立入検査や講習会等を実施する。 ・火災予防運動や住宅防火対策等の啓発活動を実施する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	83.5%		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		1,076	1,072	1,081			
特定財源	国費 ()						
	県費 (県移譲事務交付金)	1,076	1,072	1,081			
	その他 ()						
一般財源			0	0			
新規・拡充	主な事業内容						
	火災予防のための啓発	1,076	1,072	1,081			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・年度計画に基づき立入検査・違反是正を行った。(計画872件、実施972件 重大違反5件中3件は正) ・防火管理講習を企画運営し、甲種防火管理新規講習ではオンライン講習を初開催した。(甲種防火管理新規講習:開催2回、受講80名 甲種防火管理再講習:開催1回、受講13名) ・春季・秋季火災予防運動、文化財防火デー、危険物安全週間に伴う火災予防啓発等を行った。 (住宅用火災警報器設置率:96.2%) ・市立中学校少年消防クラブリーダー研修を実施した。(定員30名、参加者23名)
評価等	・立入検査を積極的に実施し計画数以上の実績となった。重大違反の是正は大きく進捗した。 ・初のオンライン防火管理講習は適切に実施できたが、受講対象を拡大する余地がある。 ・火災予防啓発は、住宅用火災警報器の維持管理について積極的に行うことができた。 ・少年消防クラブリーダー研修は定員の半数以上の参加があり、参加者の満足度も高かった。
次年度以降の考え方 (担当課)	・立入検査を継続的に実施し、違反是正を推進する。 ・火災予防啓発は、住宅用火災警報器の維持管理とともに感震ブレーカーの普及について重点的に行う。 ・複雑多様化する火災原因調査を行うため、鑑識資器材を整備充実し、調査員の知識・技術の向上を図る。 ・少年消防クラブ事業は内容の検討、募集の拡大により更なる活性化を目指す。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	1,164
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
1,160	1,164	1,164	83
1,160	1,164	1,164	83
0	0	0	0
査定額	説明		
1,164			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・火災予防の啓発等に必要な経費を計上 ・少年消防クラブの活動促進を図るために必要な経費を計上 ・甲種防火管理新規講習のオンライン実施に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	81130 警防事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画		
						款	8	消防費			ポイント					
						項	1	消防費		分野別	政策分野	3				都市基盤・防災・景観
						目	1	常備消防費			施策分野	7		消防・救急	有事に強いまちを確立します	
担当課	高山消防署 警防課			内線	2117											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・消防車両、消防資器材、救助資器材等について、常に最適(良)な状態を維持し、災害時に確実に使用できるようにする。 ・緊急消防援助隊岐阜県大隊としての訓練、近隣消防本部との連携訓練、警察及び防災航空隊等との訓練を実施し、災害時の現場対応力を強化する。 ・保有する消防力(人、車両、装備、資器材)を最大限に活用し、災害発生時において被害を最小限に食い止める。	概要	・各小隊活動のスキルアップを図り、複数小隊連携訓練の実施によって現場対応力を強化する。 ・広域災害に対応するための近隣消防本部との連携訓練、緊急消防援助隊岐阜県大隊訓練の実施により連携強化を図る。 ・各種消防車両、装備、資器材の維持管理、不具合の早期発見により、安全かつ確実な現場活動を実施する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	83.5%		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		18,928	18,303	17,180			
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(白川村受託事業収入)	1,090	1,054	1,890			
一般財源		17,838	17,249	15,290			
新規・拡充	主な事業内容						
	車両・資器材の維持管理	18,928	18,303	17,180			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・消防車両26台と救急車両12台の車検整備及び法定点検を実施し、各種出動に確実に対応できるよう図った。 ・岐阜県防災航空隊、岐阜県警等との合同訓練を実施し、連携強化を図った。 ・緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練へ参加し、消防広域応援体制の強化を図った。 ・緊急消防援助隊岐阜県大隊として、能登半島地震に計35名(第1陣～第3陣)を派遣した。
評価等	・保有する車両、資器材の維持管理、不具合の早期発見により、出動体制への影響を最小限に留めるとともに、大規模な修繕費の発生を抑制できた。 ・近隣消防本部や警察、各関係機関との訓練や会議の実施により、現場活動の対応力向上と関係機関との連携強化を図ることができた。
次年度以降の考え方 (担当課)	・消防救急車両及び災害対応資器材を、適正に点検整備し、災害時には確実に運用できるよう維持管理する。 ・発生が危惧される特殊災害(大規模災害、土砂災害、NBC、テロ等)に対応できるよう、隊員のスキルアップを図り、部隊活動レベルの向上と現場対応力の更なる強化を図る。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	18,050
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
18,034	18,050	18,050	870
1,450	1,420	1,420	△ 470
16,584	16,630	16,630	1,340
査定額	説明		
18,050			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・消防ポンプ車、救急車及び資器材の維持管理に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	81140 救急事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画					
					款	8	消防費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり							
					担当課	高山消防署 救急課	内線		2117	項	1	消防費	分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します	
										目	1	常備消防費		施策分野	7	消防・救急			

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・救急業務を円滑に遂行すると共に、救急救命士を全ての救急隊に配置し、救急体制の充実強化を図る。 ・救命講習を通じて応急手当の重要性を理解してもらい、応急手当の実施率の向上を図る。	概要	・救急救命士の有資格者の養成及び病院実習を実施する。 ・市民に対して広く救命講習の受講の場を提供する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	83.5%		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		9,595	8,861	9,140		
特定財源	国費 ()					
	県費 ()		376			
	その他(白川村受託事業収入、高速救急業務支弁金)	4,934	4,853	5,162		
一般財源		4,661	3,632	3,978		
新規・拡充	主な事業内容					
	救急救命士の養成	1,500	1,011	1,240		
	資機材の維持管理	8,095	7,850	7,900		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・救急救命士の再教育を実施した。 ・薬剤認定救命士を3名養成した。 ・新処置認定救命士を2名養成した。 ・公募による普通救命講習を5回、事業所等各種団体からの要請による救命講習を275回開催し、計4,135名が救命講習を受講した。
評価等	・救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と各種認定救命士(薬剤・新処置・気管挿管)及び指導的立場の救命士を継続的に養成する必要がある。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と各種認定救命士(薬剤・新処置・気管挿管)及び指導的立場の救命士を継続的に養成する。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	10,543
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
10,440	10,543	10,543	1,403
5,256	5,258	5,258	96
5,184	5,285	5,285	1,307
査定額	説明		
1,290			
9,253			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課	・救急救命士の育成(病院実習、認定資格取得)に必要な経費を計上
予算要求	・医療機器(除細動等)に必要な経費を計上
ポイント	・感染防止対策等に必要な経費を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	81200 消防団運営事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画	
						款	8	消防費			ポイント	1	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり			
						項	1	消防費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します	
						目	2	消防団費			施策分野	7	消防・救急			
担当課	消防本部 消防総務課			内線	2119											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・消防団の活動が、迅速かつ的確に遂行できる体制づくりに努める。 ・地域における火災や災害等から地域住民の生命・財産を守ること、市民の安全、安心の確保を図る。	概要	・報酬等の支給 ・消防団行事等の企画、運営 ・消防団員への各種表彰の具申等 ・消防団施設・資器材等の維持管理 ・消防団員の入団促進、確保対策の取組み
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	83.5%		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)				R5			R6		
				最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
				298,363	261,092	260,994			
特定財源	国費 ()								
	県費 ()								
	その他(退職報償金、公務災害補償費)			91,800	82,956	31,600			
一般財源				206,563	178,136	229,394			
新規・拡充	主な事業内容								
	出動報酬の支給			67,000	49,177	67,000			
	退職報償金			61,140	54,558	33,240			
	消防団員の安全装備			15,300	14,569	15,680			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・災害出動や警戒出動など被害の軽減や災害の未然防止を図り、市民の安全安心の確保に努めた。 ・フォトコンテストを実施した。(応募20点、入賞5点) ・消防団員の自動車運転免許(準中型)取得に係る費用の助成を行った。 ・消防操法大会のあり方を見直し、大会に代わるものとして参加型の消防フェスティバルを初開催した。(来場者約1,200人) ・消防団員の高視認性防寒衣400着、耐切創性手袋400双を配備した。 ・消防団員の処遇改善に向け、退職報償金の支給額の見直しを行った。
評価等	・フォトコンテストを実施し、だれでも手軽にスマホで撮影し応募できるようLoGoフォームを活用した。 ・消防団員自動車運転免許取得費補助金は、準中型免許取得4名が活用した。 ・高視認性防寒衣、耐切創性手袋を順次配備、活動中の視認性及び安全性が向上した。 ・勤務年数の長い消防団員の処遇改善に繋がった。
次年度以降の考え方(担当課)	・消防団員の処遇改善に継続して取り組み、入団促進、団員確保に繋げる。 ・消防団員自動車運転免許取得費補助金制度の利用促進を図る。 ・消防フェスティバルにおいて、市民に消防団活動の重要性、地域での役割などを分かりやすく伝え理解の促進とイメージアップを図る。 ・消防団員被服、装備品の整備を推進する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	284,657
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
284,635	284,657	284,657	23,663
53,984	53,900	53,900	22,300
230,651	230,757	230,757	1,363
査定額	説明		
55,000			
59,640			
17,100			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・消防団員が安全、有効に活動できるための施設、車両、装備等の維持管理に必要な経費を計上 ・消防団員の入団促進策、確保対策に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	81300 消防施設整備事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画	
						款	8	消防費			ポイント	1	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり			
						項	1	消防費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します	
						目	3	消防施設費			施策分野	7	消防・救急			
担当課	消防本部 消防総務課			内線	2119											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・老朽化した消防施設を整備し、各種災害に対する消防力の強化と充実を行い、市民の安全・安心の確保を図る。	概要	・消防団車庫を計画的に整備する。 ・消防署施設を計画的に修繕整備する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	83.5%		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		44,976	40,246	1,380,700		増減 (b)－(a)
特定財源	国費 ()					
	県費 (林業費補助金)		3,000			
	その他 (飛騨高山ふるさと基金繰入金、緊急防災減災事業債 等)	38,200	33,200	150,000		
一般財源		6,776	4,046	1,230,700		
新規・拡充	主な事業内容					
	消防団車庫の整備	39,100	33,514	0		
	消防指令システム等の更新整備			1,376,600		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・消防団車庫の新築工事を実施した。(朝日支団小瀬立岩班) ・統廃合により用途を廃止した旧団車庫2施設の解体工事を実施した。 ・女性職団員の職場環境の改善を目的として、国府分署に女性シャワー室の増設工事を行った。 ・大野分署屋外照明のLED化工事を行った。
評価等	・公共施設等総合管理計画に基づき、消防団施設の整理を推進した。 ・女性職団員の職場環境の改善を図ることができた。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化した消防団車庫の建替えや改修を計画的に推進する。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	494,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)－(c)
494,009	494,000	494,000	△ 886,700
3,000	3,000	3,000	3,000
32,600	32,600	252,600	102,600
458,409	458,400	238,400	△ 992,300
査定額	説明		
51,800			
442,200			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・消防団車庫の更新に必要な経費を計上 ・消防署施設の改修に必要な経費を計上 ・消防指令・無線システムの更新に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和7年度予算)

事業名	81310 消防車両整備事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画		
						款	8	消防費			ポイント	1	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり				
						項	1	消防費		政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約		強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します		
						目	3	消防施設費		施策分野	7	消防・救急					
担当課	消防本部	消防総務課・警防課・救急課	内線	2119													

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・消防車両(署・団)を適正に配置する。 ・老朽化した車両を更新整備することにより消防活動の安全と災害時の対応能力を向上させ、市民の安全・安心を確保する。	概要	・消防車両、消防団車両の計画的な更新整備
----	---	----	----------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	83.5%		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		252,200	249,416	234,500			
特定財源	国費 (消防施設等整備事業費 1/2)	12,000	12,779				
	県費 ()						
	その他(過疎対策事業債、夢・まちづくり基金繰入金 等)	25,000	24,700	213,700			
一般財源		215,200	211,937	20,800			
新規・拡充	主な事業内容						
	消防団車両の整備			115,200			
	常備消防車両の整備	252,200	249,416	119,300			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・はしご付き消防自動車1台を更新し、高山消防署に配備した。(令和4年度繰越明許費) ・消防ポンプ自動車1台の更新に伴う契約を締結した。(令和5年度債務負担行為) ・消防団小型ポンプ付積載車4台の更新に伴う契約を締結した。(令和5年度債務負担行為) ・高規格救急車1台を更新し、高山消防署に配備した。 ・指令車(ワンボックス車)1台を更新し、上室分署に配備した。 ・資機材搬送車(軽トラック)1台を更新し、高山消防署に配備した。
評価等	・消防車両の計画的な更新整備と適切な維持管理により、地域消防力の充実、強化につながった。 ・老朽化した車両を更新整備し、消防活動の安全と災害時の対応能力を向上させることができた。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・消防車両の更新は経過年数による整備計画を基本としながらも、老朽化の度合いに応じ調整する。 ・常備消防車両と消防団車両の更新については、平準化に向けた調整を行う。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	246,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
246,500	246,500	246,500	12,000
20,809	20,000	20,000	20,000
171,100	172,000	204,000	△ 9,700
54,591	54,500	22,500	1,700
査定額	説明		
120,000			
126,500			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・消防団車両の更新に必要な経費を計上 ・消防署車両の更新に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和7年度予算)

事業名	81320 消防水利施設整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画	
					款	8	消防費			ポイント	1	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり			
					項	1	消防費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します	
					目	3	消防施設費			施策分野	7	消防・救急			
担当課	高山消防署 指令課	内線	2117												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地震等の災害発生時における消防水利の確保と、避難所等における生活雑用水の確保を目的に耐震性貯水槽を整備し、消防水利の充実と地域の防災力強化を図る。 ・消防水利を適切に維持管理することで、効果的な消防活動ができる環境を維持し被害を軽減する。	概要	・耐震性貯水槽を整備する。 ・損傷、老朽化がみられる消防水利の改修、修繕 ・防火水槽の清掃(土砂除去等)による環境改善と水量維持) ・初期消火体制の推進
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	83.5%		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		増減 (b)－(a)				
		22,924	20,912	21,900		
特定財源	国費 (消防防災施設等整備費 1/2)					
	県費 ()					
	その他(過疎対策事業債)					
一般財源		22,924	20,912	21,900		
新規・拡充	主な事業内容					
	耐震性貯水槽の整備					
	消火栓の管理	16,000	14,496	16,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・計画的に耐震性貯水槽を整備する中、耐用年数を経過し老朽化した防火水槽を解体した。 ・防火水槽の躯体保護、排水管の破損等を4基修繕した。 ・防火水槽の清掃を1基行った。(堆積土砂除去等による環境改善及び水量維持)
評価等	・消防水利を適正に維持管理することで、災害による被害を軽減することができた。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・老朽化した防火水槽を耐震性貯水槽に更新し、震災時にも使用可能な消防水利を確保する。 ・コスト縮減を図りながら、消防水利の適正な維持管理を実施する。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	44,700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)－(c)
44,700	44,700	44,700	22,800
5,486	7,993	7,993	7,993
18,500	16,000	16,000	16,000
20,714	20,707	20,707	△ 1,193
査定額	説明		
24,000			
16,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・計画的な耐震性貯水槽の整備に必要な経費を計上 ・消火栓の機能保全と適正配置に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	81330 消防資器材整備事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画	
						款	8	消防費			ポイント	1	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり			
						項	1	消防費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します	
						目	3	消防施設費			施策分野	7	消防・救急			
担当課	消防総務課・警防課・指令課・救急課				内線	2119										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・消防資器材及び初期消火資器材について、経年劣化した資器材の更新を適正に行い、迅速かつ的確な消防活動を実施し、市民生活の安全を確保する。 ・自主防災組織の活動に必要な初期消火資器材の更新整備を図る。	概要	・計画的に資器材を整備し、有効活用することで、総合的な消防力の向上を図る。 ・初期消火資器材の新規及び更新整備
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	83.5%		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)－(a)
		21,900	20,825	25,500			
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(白川村受託事業収入、緊急防災減災事業債)	3,100	2,998	670			
一般財源		18,800	17,827	24,830			
新規・拡充	主な事業内容						
	消防団資器材の整備	5,800		5,800			
	常備消防資器材の整備	9,100	13,829	12,700			
	初期消火体制の推進	7,000	6,996	7,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・常備消防上下式防火衣16着を更新整備した。 ・訓練用安全マット1式を更新整備した。 ・機械式心臓マッサージ器1器、自動式吸引器1台、CO2測定器1器等を更新整備した。 ・消防団用に夜間用照明器具(発電機、LED照明器具)10式を整備した。 ・消防ホース59本(常備27、団32)を更新整備した。 ・初期消火資器材について、格納箱28基及びホース112本を新規整備し、格納箱18基及びホース45本を更新整備した。 ・救命講習用訓練人形3体、AEDトレーナー1台を更新整備した。
評価等	・消防資器材を計画的に更新し、消防活動の安全確保、現場対応力の充実強化が図られた。 ・消防団における資器材や装備の計画的な整備により、地域消防力の充実強化が図られた。 ・初期消火資器材の更新により、自主防災組織(市民)が行う初期消火活動の安全が確保できた。 ・講習用資器材の充実を図ることで、市民への応急手当の普及啓発が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	・更新整備した資器材を有効活用することにより総合的な消防力の向上を図る。 ・老朽化した初期消火資器材の更新及び、すべての消火栓に初期消火資器材を設置し、市内全域の消防力向上を図る。 ・消防団員の安全確保や負担軽減に配慮し、資器材や装備品を計画的に整備するとともに、国等の補助金を積極的に活用し経費削減に努める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	23,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)－(c)
23,110	23,100	23,100	△ 2,400
1,884	1,880	1,880	1,210
21,226	21,220	21,220	△ 3,610
査定額	説明		
6,650			
9,450			
7,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・消防団活動に必要な装備品の整備に必要な経費を計上 ・消防防災体制の充実を図るための消防資器材の計画的な整備に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり